**市政トピックス**

**●豊饒の大地 大崎耕土の恵みを凝縮した駅弁「宮城おおさき弁当」の販売を開始**

JR陸羽東線全線開通100周年を記念して企画された「宮城おおさき弁当 ～大崎耕土の恵み～」のお披露目式が、11月30日にJR古川駅で開催されました。

　宮城おおさき弁当は、大崎定住自立圏（大崎市、色麻町、加美町、涌谷町、美里町）の食材を盛り込んだ駅弁で、大崎地域の多彩な名物を一度に楽しむことができます。大崎市からは伊達ざくらポークや凍み豆腐、栗団子などが献立に並ぶ、地域の味を凝縮したお弁当になっています。JR仙台駅やJR古川駅の売店、リゾートみのりの車内で、2月28日までの期間限定で販売されています。

　今しか食べられない記念弁当。年末年始の旅行のお供に、皆さんも味わってみませんか。

■宮城おおさき弁当の主なメニュー

・色麻町産ひとめぼれ

・大崎名物 しそ巻き

・伊達ざくらポーク焼肉とキャベツ炒め

・炊き合わせ（凍み豆腐、小芋、飾り人参）

・鳴子名物 栗団子

・涌谷の三角油揚げ 菊花のせこんにゃく煮

・加美町の米粉入りうどんの美里町産大葉ジェノベーゼ和え

写真：宮城おおさき弁当

**●戦争を知り、平和の尊さを学ぶ小・中学生平和作文コンクール入賞作品表彰**

市では、平和事業の一環として、子どもたちの平和に対する思いや考えを発表する「小・中学生平和作文コンクール」を毎年実施しています。

　平成29年度は、小・中学生合わせて18校から２２９作品の応募があり、10人の皆さんが入賞しました。今回の入賞作品は、図書館や市内6カ所の図書室に配架する冊子で、2月から読むことができます。

写真：前列：小学生の部で入賞した皆さん　後列：中学生の部で入賞した皆さん

■平和作文コンクール入賞者

|  |  |
| --- | --- |
| 小学生の部 | 最優秀賞（1人） |
| ・戦争が残すもの  　守谷 祐乃さん（長岡小学校6年生） |
| 優秀賞（4人） |
| ・私が考える平和  　後藤 まどかさん（西古川小学校5年生）  ・平和な世界  　熊谷 奈央さん（古川第四小学校6年生）  ・この夏平和について考えた  　高橋 将弥さん（古川第二小学校5年生）  ・私の平和な世界  　早坂 菜々伽さん（古川第二小学校6年生） |
| 中学生の部 | 最優秀賞（1人） |
| ・生と死は紙一重  　西野 蒼さん（鹿島台中学校3年生） |
| 優秀賞（4人） |
| ・いつかきっと  　山口 綾菜さん（古川北中学校3年生）  ・平和の為にできること  　石川 愛望さん（古川北中学校3年生）  ・「知らない」戦争を「知る」  　髙橋 梨咲さん（鳴子中学校3年生）  ・セトモノ注意  　喜古 里美さん（古川東中学校3年生） |

**●2017　12月の主な出来事**

|  |  |
| --- | --- |
| 1日 | ●おおおさき宝大使藤岡奈穂子選手 日本人初のボクシング世界5階級制覇達成  ●大崎市安全・安心まちづくり大会、年末年始特別警戒出動式 |
| 4日 | ●温泉総選挙2017表彰式（東京都） |
| 5日 | ●第12回大崎市読書感想文コンクール表彰式 |
| 7日 | ●大崎市議会第4回定例会（～21日）  ●三本木地区交通死亡事故ゼロ2500日達成感謝状伝達式 |
| 8日 | ●第3回大崎市総合計画審議会 |
| 12日 | ●FAO（国連食糧農業機関）が大崎地域の世界農業遺産認定を公表 |
| 28日 | ●仕事納め |

写真：温泉総選挙2017で、鳴子温泉郷が東北エリア1位、歴史文化部門全国3位、うる肌部門全国5位になりました

**地域発　お・ら・ほ・の・ま・ち**

自分の住む地域を「おらほ」というと、親しみや愛着を感じませんか。

おらほの地域づくり、おらほの隠れた名所、おらほのおいしい特産品、おらほの伝統のまつり、おらほのイベント・・・。

そんな、愛してやまない「おらほの地域」を発信します。

**●三本木発　後世に伝えていきたい三本木の偉人**

交通死亡事故ゼロ2,500日達成！

　12月7日、三本木総合支所で、三本木地区交通死亡事故ゼロ2500日達成感謝状伝達式が行われました。三本木地域は、国道4号が横断する交通量の非常に多い地域ですが、平成23年1月29日を最後に、約7年間、交通死亡事故が起きていません。

　交通事故は自然災害と違い、地域や運転者の心がけで防ぐことができます。三本木地域にならって悲惨な事故を防止するため、交通安全を推進していきましょう。

写真①：日ごろの交通指導が大切

写真②：交通安全協会をはじめ、地域の交通安全推進に尽力している皆さん

**●鳴子温泉発　鳴子の伝統を発信**

国の伝統的工芸品に指定されている鳴子漆器。漆塗箸や汁椀など、以前はどの家庭でも親しまれてきた漆器ですが、時代の流れとともに使用する機会が減り、後継者不足の状況にもあります。

　そうした中、昨年度から2人の地域おこし協力隊員が伝統を受け継ごうと、日々技術習得などに励んでいます。

　12月4日・5日には、２人のPR活動の一環として、多くの皆さんに鳴子漆器の魅力を知ってもらおうと、古川商工会議所で「鳴子漆器」の展覧会が行われました。

　訪れた人たちは、職人さんや協力隊員から漆塗りの技法などの説明を受けながら、漆器を手に取り、木目や塗りの美しさを堪能していました。

写真：独特の技法の塗りで、木目の美しさと、しっとりとしたつやのある「鳴子漆器」

**●田尻発　市の鳥「マガン」をじっくり観察**

市の鳥「マガン」は、2月頃まで化女沼や蕪栗沼周辺で観察することができます。日の出とともに沼から一斉に飛び上がる「飛び立ち」や、日の入りに向けて沼へ戻る「ねぐら入り」は、10万羽を超える渡り鳥が空を覆う、圧巻の光景を目にすることができます。

　12月2日には、NPO法人蕪栗ぬまっこくらぶ主催の「ガンやハクチョウの観察」が行われました。蕪栗沼に越冬のために飛来した、マガンやオオヒシクイ、ハクチョウを観察しようと、おおさき生きものクラブ会員の小学生と保護者30人が参加。子どもたちは鳥が驚かないよう息をひそめ、望遠鏡や双眼鏡で鳥の様子を注意深く眺めていました。

　皆さんも、市の鳥に選ばれた「マガン」を見に出かけてみませんか。

写真：望遠鏡をのぞくと、マガンに手が届きそう！